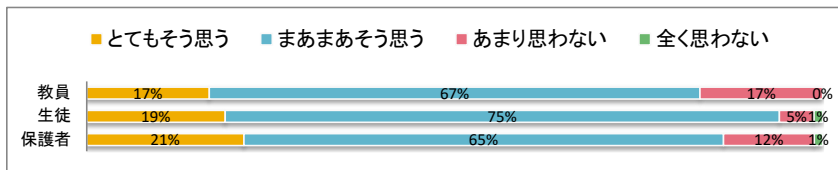


清里町立清里中学校 令和2年度前期学校評価

学 校

1 学校目標を意識している。

保護者 3.1 生徒 3.1 教員 3.0

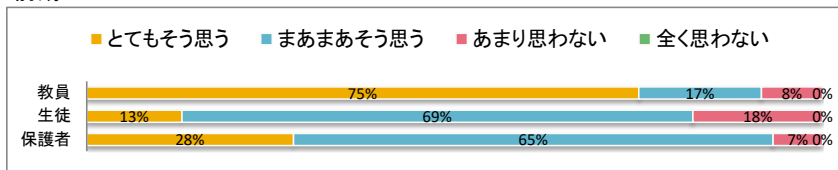


・小中一貫の取り組みに合わせ、めざす子ども像をより周知し、普段から意識した取り組みを進めていきたい。

2 生徒の思いや願いに寄り添っている

保護者 3.3 生徒 3.0 教員 3.7

前期

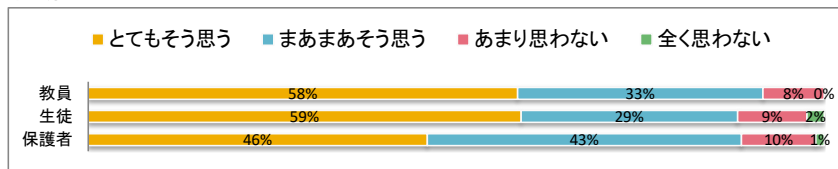


・教員と生徒の差が大きい。特に1年生生徒の結果が低い。「とてもそう思う」が増えるように、生徒や保護者の意見に耳を傾け、適切な対応を心がけていきたい。

3 学校に行くのが楽しい。

保護者 3.3 生徒 3.4 教員 3.5

前期

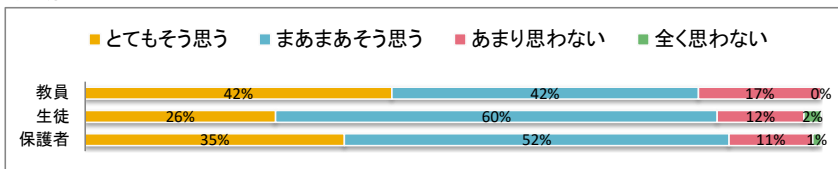


・概ね良い評価を得ている。特に2年生の評価が高い。今後もより「喜んで登校」できる学校づくりに取り組んでいく。

4 先生に信頼して話をすることができる。

保護者 3.2 生徒 3.1 教員 3.3

前期

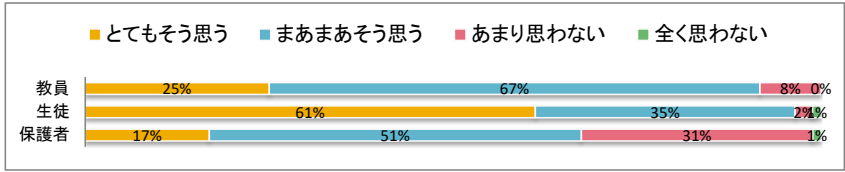


・1年生生徒の評価が低くなっているが、入学したばかりということもあるため、今後の生活の中でコミュニケーションをとり、信頼を高めていきたい。

5 授業が分かりやすく力がつく。

保護者 2.8 生徒 3.6 教員 3.2

前期

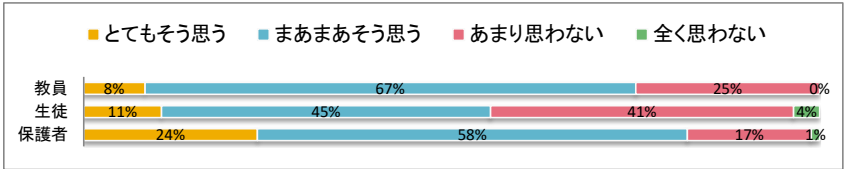


・授業に対する生徒の評価は高い。授業での取り組みが、定着し、しっかりと力をつけられるよう取り組んでいる。

6 前向きに学習に取り組んでいる。

保護者 3.0 生徒 2.6 教員 2.8

前期

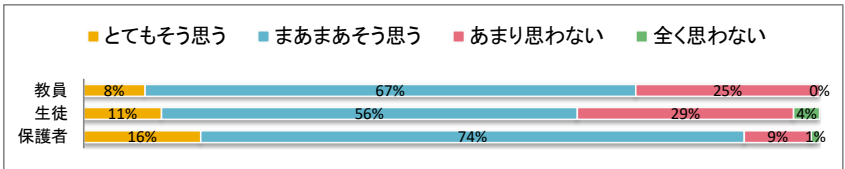


・学習に対して受け身な様子が見られる。授業の評価が高いので、より意欲的に取り組めるような授業の在り方を工夫していきたい。

7 学習の成果を十分に評価されている。

保護者 3.1 生徒 2.7 教員 2.8

前期

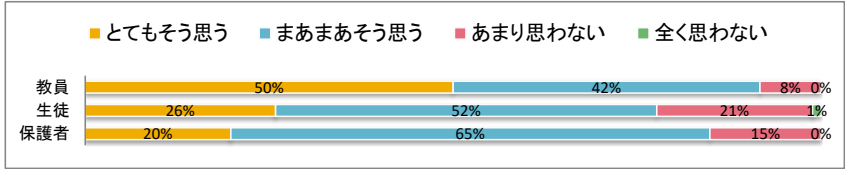


・例年課題となっているところである。学習の評価に関して、どの程度できているとどのぐらいの評価なのか、ということが理解できるような説明を行っていく。

8 学校からの課題などの量が適切で、意欲的に取り組んでいる。

保護者 3.1 生徒 3.0 教員 3.4

前期



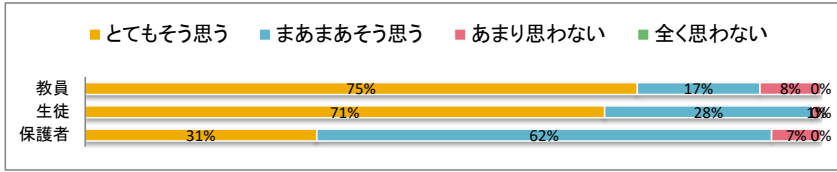
・質、量ともに意欲的に取り組める内容となっているかについては、今後検討する必要がある。

生活

9 生命・安全・健康を最優先している。

保護者 3.3 生徒 3.7 教員 3.7

前期

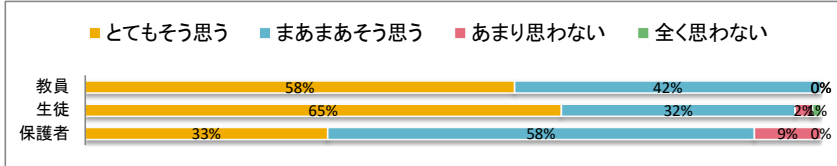


・安全面に関しては、生徒の実感として安心感のある取り組みが行えていると思われる。

10 いじめのない学校づくりに取り組んでいる。

保護者 3.2 生徒 3.6 教員 3.6

前期

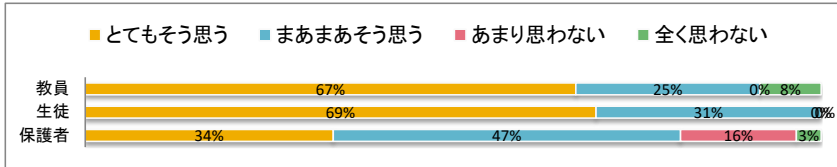


・教師、生徒ともにいじめのない学校にしようとする結果が出ていると思われる。

11 時間を意識して行動している。

保護者 3.1 生徒 3.7 教員 3.5

前期

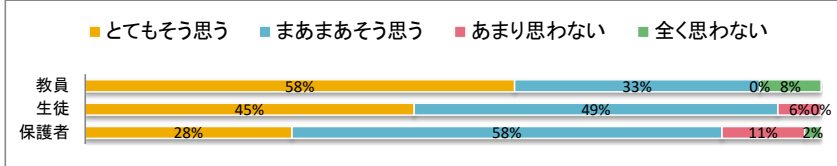


・保護者の評価が低いことから、学校と家庭で生徒の意識が変わっていると思われる。いつでもどんな時でも意識して行動できるよう、声掛けを進めていきたい。

12 社会生活のルールやマナーを身につけている。

保護者 3.1 生徒 3.4 教員 3.4

前期



・上記と同様に、いつでも意識して取り組めるよう指導を進めていきたい。

○学校

・生徒の思いや願い普段の生活に反映されていないという様子が見られた。すべての思いに寄り添うことはできないが、生徒の話に耳を傾け、適切な対応を心がけることで、より意欲的に学校生活に取り組めるようになる。落ち着いた素直であるという反面、自己主張ができないということが課題として挙げられていることから、自分たちの願いや思いをどのように伝えていけばよいのかということ、身につけさせていきたい。

○学習

・生徒にとっては授業が分かりやすく丁寧であると感じられるようではあるが、その授業の積み重ねが学力として身につけていないというような保護者の見方なのではないかと考える。授業のわかりやすさが、授業中の積極的な発言や学習に対する意欲の向上、家庭学習や課題の学習に意欲的な取り組みにつながっていない点も検討をしていかなければならないと感じる。やらされている学習ではなく、進んで学習する意識を高めていかなければならない。評価に関しても、わかりやすい評価基準をもとに、自己の努力の対する納得のいく結果が得られるようにしていきたい。

○生活

・校内の取り組みとして、生命の安全確保やいじめの未然防止について重点的に取り組んでいることが生徒の実感としてとらえられていることが結果として表れているようである。今後も同様の取り組みを続けていきたい。時間やマナーに関する項目に関しては、行内ではしっかりと意識して行動できている様子が見られるが、家庭に帰ったときにできていないという見方ができる。時間やマナーは社会生活に必要なスキルであるため、学校でできるだけではなく、いつでもどんな場面でもできるようにする指導を進めていきたい。